

尾道市合併20周年記念 圓鍔勝三彫刻美術館 令和7年度冬季展

# 圓鍔勝三 群像への挑戦

2025年12月9日 火 — 2026年2月15日 日

※会期中の12月23日、24日は館内燻蒸作業のため臨時休館



「星より」1983年

開館時間：午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、12/23、12/24、年末年始（12/29～1/3）

入館料：大人420円（340円）高校生310円（250円）※（ ）内は20名以上の団体料金

中学生以下・70歳以上（要年齢確認）、障害者手帳をお持ちの方（スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用可能）は無料

\*身体障害者手帳…所持本人（1級～4級の場合は付添人1人）\*療育手帳…所持本人、および付添人1人 \*精神障害者保健福祉手帳…所持本人、および付添人1人

尾道市合併20周年記念 圓鍔勝三彫刻美術館 令和7年度冬季展

# 圓鍔勝三 群像への挑戦

圓鍔勝三は明治38（1905）年に尾道市御調町に生まれ、16歳で彫刻家を志します。日展をはじめとする公募展で活躍し、多摩美術大学で教鞭をとるなど近代彫刻界に影響を与えた彫刻家の一人となりました。昭和63（1988）年にはその功績が認められ、文化勲章を受章します。

本展は、圓鍔勝三の群像表現をテーマに作品をご紹介する展覧会です。圓鍔の彫刻は具象、抽象に始まり、様々な素材を使用した制作スタイルなど幅広い表現が見られますが、群像表現もひとつの特徴として挙げられるほどに数多くの群像作品が存在します。

「なぜ群像を制作するのか」という問い合わせに対し、確固とした答えはなく「1人の像を作るより、2人も3人も作る方が勉強になる。」と圓鍔は語りました。何事も勉強だと努力を惜しまず挑戦の心で制作された作品からは、優れた彫刻技術と独自のストーリー性を感じることができます。時代ごとに変化する彫刻に使用した素材や表現にも注目してお楽しみください。



「二人」1948年



「星羅」1960年



「ささやき」1976年

## 関連イベント

### 御調中学校デッサン展

2025年12月9日（火）～2026年2月15日（日）

「圓鍔勝三 群像への挑戦」の会期中、館内休憩室にて御調中学校1年生のデッサンを展示しています。ぜひご覧ください。※要入館チケット、当館開館時間内での観覧となります。

## 交通アクセス



### 【交通機関】

#### [JR・バス利用]

JR尾道駅、JR新尾道駅から、  
中国バス「甲山」「御調高校前」行きに乗車、  
「道の駅クロスロードみつぎ」下車タクシーで約10分

#### [車利用]

東、北からは尾道自動車道・尾道北IC経由、西からは  
山陽自動車道・三原久井IC経由国道486号線で御調  
町へ。  
国道184号線府中分かれ交差点を左折して約5分

美術館 HP X (旧 Twitter) Facebook



圓鍔勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM

〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾220番地

TEL:(0848-76-2888) FAX:(084877-0071)